

Nara National Museum

# 奈良国立博物館

## だより

第97号

平成28年 4・5・6月



●信貴山縁起絵巻 延喜加持巻(部分) (奈良・朝護孫子寺)

特別展

### 国宝 信貴山縁起絵巻

—朝護孫子寺と毘沙門天王信仰の至宝—

4月9日(土)～5月22日(日)  
東・西新館

特別陳列

### 和紙

—近代和紙の誕生—

6月7日(火)～7月3日(日)  
西新館

名品展

珠玉の仏たち  
4月29日(金・祝)～  
なら仏像館

珠玉の仏教美術  
6月7日(火)～7月3日(日)  
西新館

中国古代青銅器  
通期開催  
青銅器館



●栗原寺伏鉢(談山神社)



刺繡種子阿弥陀三尊像(禪林寺)



●一字蓮台法華經(龍興寺)

- 観音経 本土寺
- 【書跡】
- 瑜伽師地論 卷第十六(五月一日経) 個人
- 大般若経(安倍小水麻呂願経) 慈光寺
- 一字蓮台法華経 卷第三 龍興寺
- 法華経一品経 神力品第二十一 長谷寺
- 弘法大師二十五箇条遺告 能満院
- 弘法大師御勸文 当館
- 伝教大師求法書等 当館
- 越中国射水郡鳴戸村墾田図(麻布) 当館
- 越中国射水郡鳴戸村墾田図案 当館
- 越前国坂井郡高申村東大寺大修多羅 当館
- 越前国田原(東大寺開田図) 当館
- 豊前国仲津郡丁里戸籍断簡 当館
- 民部省符 当館
- 三宝絵断簡(東大寺切) 当館
- 明月記断簡 当館
- 明恵上人夢記 当館
- 中臣祐賢和歌懐紙(春日懐紙) 当館
- 清拙正澄墨跡 法語 当館
- 【工芸】
- 刺繡阿弥陀如来来迎図 長岳寺
- 刺繡阿弥陀三尊来迎図 中宮寺
- 刺繡阿弥陀三尊来迎図 個人
- 刺繡種子阿弥陀三尊像 禪林寺
- 刺繡種子阿弥陀三尊像 大福田寺
- 刺繡種子阿弥陀三尊像 当館
- 刺繡法然上人絵伝 一心寺
- 錦幡 西明寺
- 刺繡三昧耶幡 当館
- 錦幡 当館
- 錦幡 模造 当館
- 三脚卓 当館
- 蓮池蒔絵経箱 文化庁
- 華瓶 当館
- 火舎 当館
- 蓮華形柄香炉 真光寺
- 蓮華形香炉 個人

- 宝相華文透彫華籠 神照寺
- 華籠 万徳寺
- 蓮華化生文説相箱 性海寺
- 個人
- 【考古】
- 土偶(山形県杉沢遺跡出土) 当館
- 縄文土器・土偶・祭祀具(小野コレクション) 当館
- 【青森・岩手県出土】
- 銅鐸(愛媛県川之江市出土) 当館
- 銅鐸 妙国寺
- 五條猫塚古墳出土品 当館
- 蓮華文鬼瓦(伝奈良県奥山久米寺出土) 京都国立博物館
- 蓮華文鬼瓦(伝奈良県山崎村廢寺出土) 京都国立博物館
- 鬼身文鬼瓦(伝奈良県葉師寺出土) 京都国立博物館
- 鬼面文鬼瓦(伝奈良県大安寺出土) 個人
- 鬼面文鬼瓦(奈良県秋篠寺出土) 個人
- 鬼面文鬼瓦(愛知県社山古窯出土) 個人
- 栗原寺伏鉢 談山神社
- 中宮寺塔心礎上面出土品 中宮寺
- 靈安寺塔跡出土鎮壇具 当館
- 佐井寺僧道葉墓出土品 当館
- 山代忌寸真作墓誌 当館
- 出雲荻狩古墓出土品 当館
- 青磁鉢 正暦寺
- 陶製経筒(愛媛県北条市出土) 当館
- 銅板経(天分県長安寺経塚出土) 長安寺
- 青石経(愛媛県大日堂経塚出土) 当館
- 泥塔経(鳥取県智積寺経塚出土) 当館
- 【国宝】 ●【重要文化財】
- 名品展
- 中国古代青銅器(坂本コレクション)
- 青銅器館
- 中国古代の商(殷)から漢代に製作された、青銅器の逸品を展示しています。

◆奈良国立博物館賛助会

平成28年3月31日現在、一般会員(個人)49名、一般会員(団体)17団体、特別会員4団体、特別支援会員4団体のご入会をいただいております。

◆キャンパスメンバーズ

平成28年3月31日現在、「キャンパスメンバーズ」会員の大学等は以下の通りです。大阪大学、関西大学・関西大学第一高等学校・関西大学北陽高等学校、関西大学高等部、京都外国語大学・京都外国語短期大学、京都教育大学、京都教育大学附属高等学校、京都工芸繊維大学、京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部、京都産業大学、京都産業大学附属高等学校、京都精華大学、京都大学、京都橘大学、京都文教大学・京都文教短期大学、近畿大学文芸学部・近畿大学大学院総合文化研究科、就実大学人文科学部、帝塚山大学、天理大学、同志社大学・同志社女子大学・同志社高等学校・同志社香里高等学校・同志社女子高等学校・同志社国際高等学校、奈良学園大学・奈良文化女子短期大学部、奈良文化高等学校、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良学園登美ヶ丘高等学校、奈良佐保短期大学、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良大学、佛教大学、立命館大学・立命館大学大学院、龍谷大学・龍谷大学短期大学部 (以上、五十音順)

【表紙写真解説】

国宝 信貴山縁起絵巻 延喜加持巻より 剣の護法童子

紙本着色 縦三一・八cm 長二二五・四cm 平安時代(十二世紀) 奈良・朝護孫子寺

全身に剣をまとい、金輪を転じながら大空を駆けめぐる童子。国宝「信貴山縁起絵巻」に登場するヒーロー、剣の護法童子である。延喜の帝(醍醐天皇)の病氣平癒祈願を依頼された信貴山の僧・命蓮は、山に留まったまま法力によりこの童子を宮中に派遣し、帝の病は無事平癒したという。毘沙門天二十八使者の白描図像には、剣を身にまとい飛行する使者の姿が描かれており、また毘沙門天が遣わした飛行夜叉が金輪を掲げて国王の寿命を延ばすという仏教説話も、平安時代には広く知られていたようだ。剣の護法童子は、こうした図像や説話をもとに、信貴山朝護孫子寺の本尊・毘沙門天王の靈験を具現化した存在なのだろう。

谷口耕生(当館学芸部教育室長)